

汗

岡本かの子

青空文庫

——お金が汗をかいたわ」

河内屋の娘の浦子はそういうつて松崎の前に掌を開いて見せた。ローマを取巻く丘のように程のよい高さで盛り上る肉付きのまん中に一円銀貨の片面が少し曇つて濡れていた。

浦子はこどものときにはひどい脳膜炎を患つたため白痴わざわちであつた。十九にもなるのに六つ七つの年ごろの智恵しかなかつた。しかし女の発達の力が頭へ向くのをやめて肉体一方にそそいだためかれつきの美人の素質は息を吹き込んだように表面に張り切つた。ほたんの花にかんなの花の逞ましさを添えたような美しさであつた。河内屋の生人形、と近所のものが評判した。

浦子は一人娘であつた。それやこれやで親たちは不憫を添えて可愛ゆがつた。白痴娘を持つ親の意地から婿は是非とも秀才をと十二分の条件を用意して八方を探した。河内屋は東京近郊のX町切つての資産家だつた。

三人ほど官立大学出の青年が進んで婿の候補者に立つた。しかし彼等が見合いかたがた河内屋に滞在しているうちに彼等はことごとく匙さじを投げた。「紙!」「紙!」浦子は便所へ入つて戸を開けたまま未来の夫を呼んで落し紙を持つて来させのような白痴振りを平氣でした。

松崎は婿の候補者というわけではなかつた。評判を聞きつけて面白半分娘見物に来たのだつた。松崎は鮎あゆ釣が好きだつたところ

からそれをかこつけに同業の伯父から紹介状を貰つて河内屋に泊り込んでいた。X町のそばには鮎のいる瀬川が流れて季節の間は相当賑にぎわつた。松崎は工科出の健康な青年で秋口から東北の鉱山へ勤める就職口も定まつていた。

もはや婿養子の望みも絶つた親たちはせめて将来自分一人で用を足せるようにと浦子に日常のやさしい生活事務をボツボツ教え込むことに努力を向けかえていた。

松崎の来るすこし前ごろから浦子は毎日母親から金を渡されて一人で町へ買物に行く稽古をさせられていた。

庭には藤が咲き重つっていた。築山を繞めぐつて覗かれる花畠にはジキタリスの細い頸の花が夢の焰のように冷たくいく筋もやらめい

ていた。早出の蚊を食おうとぬるい水にもんどり打つ池の真鯉——なやましく藪ろうたけき六月の夕だ。

松崎は小早く川から上つて縁側で道具の仕末をしていた。釣つて来た若鮎の喧むせるような匂いが夕闇に沁みていた。そこへ浦子が

——お金が汗をかいたわ

といつて帰つて來た。

——松崎さん。こんなお金でおしおせん買って?

この疑いのために浦子はそのまま塩煎餅屋の前から引返して來たのだ。

松崎は眼を丸くして浦子の顔を見た。むつくり高い鼻。はかつたようにえくぼを左右へ彫り込んだ下しも膨ぶくれの頬。豊かに括くくつた

朱の唇。そして蛾眉の下に黒い瞳がどこを見るともなく煙つてい
る。矢がすりの銘仙に文金の高島田。そこに一点の羞恥の影も無
い。松崎は眼を落して娘の掌を見た。古典的で若々しいローマの
丘のように盛上った浦子の掌の肉の中に丸い銀貨の面はなかば曇
りを吹き消しつつある。

松崎は思わず娘の手首を握った。そして娘の顔をまた見上げた。
そのとき松崎の顔にはあきらかに一つの感動の色が内から皮膚を
かきむしっていた。

——こんなお金でおしあせん買えて?』

松崎の顔は決心した。そしてほつと溜息をついて可愛らしい浦
子の掌へキスを与えた。そしていった。

——買えますよ。買えますとも。どりや、そいじや僕も一しょに行つてあげましょう。そしてこれからはあなたの買物に行くときにはいつでも一しょに行つてあげますよ」

その秋に松崎は浦子を妻に貰つて東北の任地へ立つて行つた。

これはあの大柄で人の好さそうな貨幣一円銀貨があつた時分の話である。

青空文庫情報

底本：「岡本かの子全集1」ちくま文庫、筑摩書房

1994（平成6）年1月24日第1刷発行

底本の親本：「丸の内草話」青年書房

1939（昭和14）年5月20日

初出：「週刊朝日」

1933（昭和8）年5月28日

入力：門田裕志

校正：こじらねぢや

2020年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<https://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

汗

岡本かの子

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>